



# 林野庁図書館ニュース

発行：林野庁書資料館  
TEL：03-3501-0964

## 年末特集

## 2025年 どんな本が人気だったか？をご紹介します！

林野庁図書館所蔵の図書資料で、今年（2025年1月から11月まで）貸出回数の多かったものをご紹介します。前記の11カ月間における貸出数は、延べ1,148冊でした。業務遂行の参考図書を求めて、自身のスキルアップのため、また趣味の探索や癒しの時間など様々な目的で図書館に足を運んでくださる皆さまのお役に立てますよう、図書資料や各種サービスの充実に努めてまいります。みなさまのご来館をお待ちしております！



### 1 農地・森林に関する法律と実務 登記・届出・許可・転用



416問のQ&Aで、農地・森林に関する法律実務に必要な知識を網羅。農地法・森林法の改正経緯、関連する旧民法の知識、「農地転用」、「開発行為」、「建築確認」「接道義務」などについても解説。

著者：末光祐一  
出版社：日本加除出版株式会社（2013年）



### 2 日本林業は世界で勝てる！



日本が誇る人工林を活かしてワールドチャンピオンを目指せ！日本林業が世界とどのように戦うか、どのように勝っていくか、極めて示唆に富む内容。

著者：山田壽夫  
出版社：日本林業調査会（2024年）



### 3 刑法総論 第4版



もう刑法の「森」で迷わない。初学者のためのハンディな入門書。既修者の復習にも最適な、長く役立つ1冊。

著者：内田幸隆、杉本一敏  
出版社：有斐閣（2019年）

### ～第4位以降～

『行政手続法・行政不服審査法 第3版』 編著：室井力、芝池義一、浜川清、本多滝夫 出版社：日本評論社（2018年）  
最新かつ本格的な逐条解説書。平成26年の行政不服審査法全部改正と、その後の学説・判例に対応。

『鳥獣保護管理法の解説』 監修：環境省 出版社：大成出版社（2017年）

行政担当者、狩猟者、捕獲従事者必携の書です。平成27年5月29日施行対応（本書の内容は平成28年12月2日現在）

『森林・林業必携 第2版補訂版』 編者：東京農工大農学部森林・林業必携編集委員会 出版社：朝倉書店（2024年）

林業実務に必要な技術・知識を簡潔にわかりやすく解説。公務員試験の参考書にも。第2版（2021）刊行後の法律・JIS規格改正等を反映。

『エイゴは、辛いよ。霞が関官僚の英語格闘記』 著者：大矢 俊雄 出版社：東洋経済新報社（2024年）

学校英語の通じぬ試練とホラーの日々を笑え！ 海外出張や外国人との会議を楽にするフレーズ、ヒアリング、メモ取りのコツ50も！

『事例にみる 林業に活かすJ-クレジット制度』 編集・出版：全国林業改良普及協会（2025年）

林野庁の解説をはじめ、実施主体を「自治体」「公社・団体」「森林組合・生産森林組合・財産区」「営利法人」の категорияに分け、多様な実践事例を紹介。



### 農林水産省「消費者の部屋」展示

## 本の森に出かけよう ～みちかな樹木には魅力がいっぱい～

「消費者の部屋」で『新・リン子の絵日記1・2』を中心とした林業マンガパネル及びリーフアート(葉っぱの切り絵)作品を展示します。様々な樹木のイラストと関連するリーフアートや図書資料をお楽しみください。また、実際の葉っぱに触れたり香ってみたり、森林を身近に感じていただけるコーナーもあります。そして、林業マンガ作者の平田美紗子による「ネイチャージャーナル(葉っぱのスケッチ)」と、「森のリーフアーティストうけさん」こと佐野由輝によるリーフアート(葉っぱの切り絵)の2つのワークショップを開催。みなさま、ぜひお立ち寄りください。

展示期間：令和7年12月8日(月)～12日(金) 10時から17時  
(8日は12時から、12日は13時まで)

会場：農林水産省「消費者の部屋」  
(東京都千代田区霞が関1-2-1 農林水産省北別館1階)

参加費：無料

### 《ワークショップ》

①リーフアート(葉っぱの切り絵) 12月11日(木) 12:05～  
講師：佐野由輝(北海道森林管理局網走西部森林管理署長)

②ネイチャージャーナル(葉っぱのスケッチ) 12月12日(金) 12:05～  
講師：平田美紗子(北海道森林管理局企画課経営企画係長)

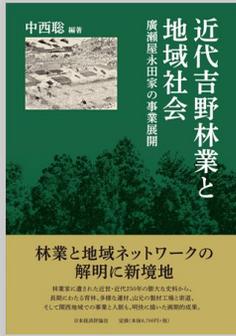


消費者の部屋  
ホームページ

# 新着図書・注目図書のご案内

林野庁図書館は、林野行政・施策部門における専門図書館として、歴史的に貴重な明治・大正期の森林・林業・木材産業に関する資料から、森林環境教育等に活用いただけそうな図鑑や絵本等まで幅広く図書資料を備え、皆様のご利用をお待ちしております。新着図書や注目図書の一部をご紹介します。

## 近代吉野林業と地域社会 廣瀬屋永田家の事業展開



林業と地域ネットワークの解明に新境地。長期にわたる育林、多様な運材、山元の製材工場と索道、そして関西地域での事業と人脈を、林業家の史料から明快に描いた画期的成果。

編／著：中西聡  
出版社：日本経済評論社(2024年2月)

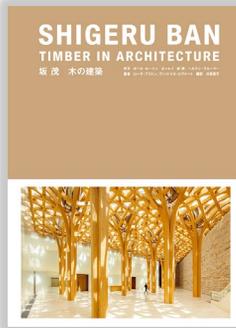
## 世界のふしぎな木の実図鑑【改訂版】



今回の改訂版では、学名や分類を最新のものに更新。新たに9種を追加し、より状態のよい標本が手に入った木の実の写真は撮り下ろしています。まだまだ広がる'変で、愉快で、美しい、木の実の世界'をお楽しみください！

著 者：小林智洋、山東智紀  
写 真：山田英春  
出版社：創元社(2025年8月)

## 坂 茂 木の建築



世界最古の建築素材である木は、今なお建物の設計や建設に革新をもたらしている。本書では、坂茂により実現された45のプロジェクトについて、設計図、写真、解説をもとにコンセプトから施工までのプロセスをたどる。

編 者：ローラ プリントン  
ヴィットリオ ロヴァート  
寄 稿：坂 茂  
出版社：グラフィック社(2023年9月)

## 「話がつまらない」をなくす技術



「人前で話すのが苦手」「初対面の人と話す緊張する」「相手にうまく伝わっているか不安」...そんなあなたも、もう安心！誰でもできる話をおもしろくするコツを紹介します。これで「会議」「交渉」「プレゼン」「テレワーク」での「話がつまらない」がなくなります！

著 者：野呂エイシロウ  
出版社：アスコム(2025年8月)

## 森のサプリメント探検帳 ～森をそだてる落ち葉のみみっつ！～



はじめでは、一番身近なイロハモミジの木の葉にスポットを当て、緑色の葉が黄色にオレンジ色に、そして、真っ赤に変化していく様子を定点写真で紹介していきます。その他、どの木から葉が落ちるのか、また、落ち葉が森の動物の食料になったり、分解者によって木々の栄養になって循環していく様子を写真やイラストで解説していきます。

文・構成：飯田猛 写真：亀田龍吉  
出版社：技術評論社(2025年9月)

## 野生動物の保全と管理の事典



野生動物の分布拡大と生息数増加により、農林業被害の増加・都市域への出没・感染症など、野生動物とヒトとの軋轢が加速化している。政策が保護から管理に軸足が移ったなか、本書は野生鳥獣類のリスク管理と持続的な資源利用の在り方を行政施策や産業と関連づけながら示し、科学に基づく野生動物管理の原理原則を解説する。

編 集：「野生生物と社会」学会  
編集協力：日本哺乳類学会・日本鳥学会  
出版社：朝倉書店(2025年10月)

## 森林・林業まんが・イラストをご活用ください！

子どもたちに森や林業のことを伝える教材として。  
さまざまなイベントでの展示やパンフレットとして。  
オフィスで、お店で、木材利用をお考えのみなさまへ。

森林や林業に興味を持っていただくきっかけづくりのひとつとして  
どなたも自由にご利用いただけるコンテンツをご用意しております。  
データを希望される方は、お気軽にお問い合わせください。

林野庁図書館の林業漫画・イラストは[こちら](#)



森林業循環活用図(作：林野庁職員 平田美紗子)

連絡先：林野庁企画課林野図書資料館(国立国会図書館支部林野庁図書館)

代表：03-3502-8111(内線6060) 直通：03-3501-0964

HP：<https://www.rinya.maff.go.jp/j/tosyo/index.html>

